

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能正一郎

五省会ニュース

五省
一 至誠に悔るなかりしか
一 言行に恥るなかりしか
一 氣力に疲るなかりしか
一 努力に憾みなかりしか
一 不精に怠るなかりしか

苦勞さんでした

西能病院事務長、堀政夫氏は十一月三十日付けで定年退職する。こんごも同病院顧問として病院管理の相談にあたる。昭和三十八年十一月、農協滑川病院から西能病院へ事務長として勤務、以来二十年間、西能院長の片腕として病院の労務管理に手腕を発揮、院内外の多くの人たちから頼られ、慕われてきた。指導を受けてきた病院職員らは、口々に「温厚な院長は若い時から氣配がみながり、仕事を徹底的にやる人だった。遠見で、積極果敢であった。富山大橋脚沈下で、いち早く地鉄ビルに診療所を開設したのも、その例である」と語っている。酒豪で知られている。晩酌は冷酒でコップ三杯でいい。



堀政夫氏

労務管理に手腕発揮

富山県社会保険連合会長表彰状(48年社会保険委員として)富山県知事感謝状(53年社会保険委員として)富山警察署長、富山安全運転管理者協議会長表彰状(55年安全運転管理者)富山社会保険委員会、富山社会保険事務局長感謝状(58年社会保険委員)

堀事務長に贈る

西能正一郎

院長、事務長、総婦長の三役は病院管理の三本柱である。今年春に古沢総婦長を送り、秋には堀事務長が二十年近い長い勤めを完了されて顧問としてご指導いただくこととなり、病院としては大変な年となった。昭和三十八年十一月から五福に新設した木造四十七床の病院が動き出すと、院長が常駐出来ない新病院には、三十数名の職員のかねめになる人材がどうしても必要であった。かねてから、私は、前任地の農協滑川病院で検査技師長を勤めておられた堀政夫氏の人柄に惚れ込んでいたので、勝手にこの人のほかにいないと、決めこんでしまった。ことわられても、ことわられても頼みに行っていた。地盤も地位も確立している病院から、海のものとも山のものとも、わからない個人病院に移籍することは、自分の将来を若造の私に托し、この病院と心中するつもりにならなければ出来ない相談

職員への頼りになる「おやじ」

二人で飲む酒は二升カッキリ

発電所工事診療所、病院第一期増築工事、第二期増築工事、富山大橋脚沈下による富山駅前診療所開設、牛嶽スキー場救急隊編成、有峰発電所診療所、医療法人改組、そして今回の第三期増築工事の準備にまで、今日の病院の発展に事務長の手腕に頼りながら、今日何となく、今でも事務長は五合しか飲まなかつたと言っている。そして、それらにもまして、氏の温和、誠実、重厚な人柄は、年々増えてゆく職員一人一人の頼りになる「おやじ」であり、肩の要でもあった。事務長は、私より七才も年上である。まだ生意気盛りで、

集団給食で厚生大臣賞

西能病院



表彰状をかこんで喜びの給食部

「患者本位」の熱意実る

こんどの大会で厚生大臣表彰を受けた集団給食施設は全国で十三、栄養関係功労者は五十七人(富山県関係者は朝岡田鶴子富山市民病院給食係長と高木啓子富山県消費生活センター相談員の二人)これは各都道府県知事が推せんしたものを厚生省に設けられた選考委員会で審査のうえ決定した。集団給食施設では、同病院給食部(責任者井上千恵子主任栄養士ら十人)が次の厳しい五つの条件に該当した。①集団給食施設として十年以上の実績、栄養改善に効果が顕著②合理的な給食管理組織の確立③給食業務の合理化、喫食者の栄養指導の適切④喫食者中心の給食への配慮、給食改善のための調査研究の熱意、その結果が栄養改善へ結びついている⑤施設、設備の完備、食品衛生監視結果が良好、過去に行政処分なし。西能病院が基準給食をはじめたのは昭和三十九年九月一日から。院長の指導のもと、職員が一人ひとりが健康な体となることを目指して社会へ復帰させるための給食、即ち「患者本位の給食」に、たゆまぬ努力を続けてきたことが報いられた。その間、患者対象の減量指導など(栄養指導)一週に一度、献立に患者の嗜好を取り入れた(複数献立)夕食配膳を四時四十五分から六時へ(配膳時間の改正)に効果をあげた。また作業、衛生管理面にも配慮を重ね、食堂デイルームを設置、最新の調理機械設置など給食施設を改善した。

喜びで一杯

井上主任栄養士の話

「おかげさまで」といふ喜びの気持ちで一杯です。これもひとえに、院長の方針で、職員が心を合わせて、患者さん本位の給食」に取り組んできたおかげです。また、ご推薦、ご協力いただいた県公衆衛生課や富山保健所の中町澄子予防課長、中尾さんに深く感謝いたします。これからも、よりよい給食に邁進する覚悟です。

輝かしい荣誉

作田県公衆衛生課主任(栄養担当)の話

県の記録では、富山県の施設が集団給食で大臣表彰を受けたのは昭和四十八年の農協滑川病院以来、二度目です。今年も富山保健所からの推薦が一件(西能病院)だけで、推薦基準を満たす施設が少ないことがわかります。この輝かしい荣誉は、院長はじめ皆さんが患者さんの健康のために献身的な活動を続けておられるからだと思えます。

あすなろ

インドのヨガの權威者の話を聞いたことがある。ゆつたり、おだやかに、流れる大河のような動きだった。各人の体力や体調に応じて息を吐き切るまでの時間をかけるのがルーラだという。呼吸で体の自然な営みを取り戻すのは各人自在だ。つまり今の日本でやっている号令一下の「そろって体操」とは正反対。どこかの美容体操で「もう一息」「がんばりましょう」とやっているヨガを見て目をまるくしたのも当然だろう。さて、それは別として、最近の日本人はそろって一、二、三が多過ぎないか。もともと集団行動、集団ムードが好きな国民で、いい方向へと世界的な力を発揮する原動力にもなる。しかし最近のみならず一斉に口をそろえて名指しの間を非難する風潮は目に余まる。それをやらぬと白い目で見られるから、つい「長いものには巻かれよ」となる。たとえば大人でも理解しにくい田中辞職勧告案問題で、なんと生徒に感想文を書かせた東京の公立中学校があったそう。子供らが一斉に書いたであろう内容は想像できる。それを大新聞が堂々と掲げて「10・12判決に中学生も厳しい目」という記事を書いていた。子供に「鬼畜英米」を叫ばせた暗い戦争中のムードを思い出しているやな気がする。現代新聞はそんな風潮に流されてはいないか。

大地を踏む

井波町本町 大谷久子さん(五六)



自転車で用事に出かける久子さん

「私は、いろいろな病気で、もう十回ぐらい入院してあります。おかげさまで、体が少し強くなりました。昔から、おかげさまで、おかげさまで、おかげさまで。」

強しようかと思っております」と、静かに語り出す久子さん。
西能病院へも両股関節痛で三回入院し、二回手術した。一回目の入院は昨年一月五日で右を手術。二回目は入院だけ(昨年十月二十六日―二十九日)。三回目は二月二十日に入院。四月十一日に左を手術、七月四日に退院した。

股関節の骨がポロポロになっていて、相手が近所の男の人たちです。女性ばかりの温泉マージャンも計画しております。久さんは、若いときから生花、お茶、舞踊から絵画に親しんで来た。洋裁も得意で、巨人軍の

好きなマージャンを楽しんでます。相手は近所の男の人たちです。女性ばかりの温泉マージャンも計画しております。久さんは、若いときから生花、お茶、舞踊から絵画に親しんで来た。洋裁も得意で、巨人軍の

た。三回目の退院のときには涙の別れをしたという。入院中は、ご親切にしていたご親戚(井波町出身)からも励ましてもらいました。患者さんとも仲よくなつて幸せでした。先生から歩かないで、といわれるので、遠くまで行けません。でも私には家族(夫、長男夫婦、孫二人)がいまいます。友人がいます。仕事(洋服店)があります。温かい心に囲まれて一杯生きていきます。

温かい心に

囲まれて

「三回目の退院は、四月十一日に左を手術、七月四日に退院した。数年前から両股関節から腰部にかけてサスような痛みを覚えた。近くの医師に診てもらったが、骨には異常がないという。西能病院でレントゲンなど精密検査したところ、

「三回目の退院は、四月十一日に左を手術、七月四日に退院した。数年前から両股関節から腰部にかけてサスような痛みを覚えた。近くの医師に診てもらったが、骨には異常がないという。西能病院でレントゲンなど精密検査したところ、

「三回目の退院は、四月十一日に左を手術、七月四日に退院した。数年前から両股関節から腰部にかけてサスような痛みを覚えた。近くの医師に診てもらったが、骨には異常がないという。西能病院でレントゲンなど精密検査したところ、

「三回目の退院は、四月十一日に左を手術、七月四日に退院した。数年前から両股関節から腰部にかけてサスような痛みを覚えた。近くの医師に診てもらったが、骨には異常がないという。西能病院でレントゲンなど精密検査したところ、

〈第十七信〉

松下英勝

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

「秋たけなわ」の愛光園の運動会、ゲートボール大会などは「ワーワーアア、キャーキャー」と、活発に楽しく終りました。

美しいものが 見えてきた



西能病院前の松下さん

「垣根を取り除いた」

西能病院で八日間、入院療養

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

習が静かに出来るようにと、ボランティア室という部屋を提供してもらいました。まるで自分の書斎のように振舞っており、庭先には園生のよく手入れの行き届いたコスモス、咲き誇り、池の噴水チヨロチヨロと、カメラ、頭をチヨロチヨロもたげ、いかにもノンビリとした風情です。平和とは、こんな時に使う言葉かと考え、幸福です。

西能病院

昭和58年のあゆみ

- 1月3日 仕事始め。西能院長は「第三増改築工事が完成、四月からスタートする。貯えてきた病院の機能を結集して地域住民に良い医療を提供しよう」と年頭あいさつ。
- 1月17日 朝礼で成人の祝い。新成人五人(小幡英子、田畑朱美、穴倉栄、藤沢伸江、水口洋子)に記念品を贈呈。
- 3月13日 旧棟の改築工事が完成、新棟の患者が旧棟へ引っ越し。
- 3月20日 開院二十一年記念式を病院五階ホールで挙げる。十二人の職員を永年勤続者として表彰。西能院長は「信頼と奉仕をモットーに一歩一歩前進したい」とあいさつ。
- 3月21日 第三増改築竣工式を病院五階会議室で挙げる。つぎの工事関係者に感謝状を贈呈。株式会社日建設計、株式会社竹中工務店、鈴木工業株式会社、三菱電機株式会社。
- 3月21日・27日 第三増改築竣工披露パーティーを病院五階ホールで。県内外から五百人の招待者。
- 3月31日 古沢富美総務部長が定年退職。十五年七カ月にわたり勤務。
- 4月1日 内科を充実、内科病棟を新設してスタート。富山医科大学第一内科から中尾院英、泉三郎、松山幸孝、山下直宏、丸山宗治の諸先生の強力スタッフ。
- 4月1日 西能副院長は朝礼で「安定したよい病院づくりを目指して一層の努力をお願いします」とあいさつ。
- 4月15日 名鉄富山ホテルで古沢総務部長の送別会。
- 6月15日 「奥さま社会見学」(富山新聞主催)の五十人が院内を見学。奥さまたちの印象は「病院全体が明るく、清けついで、落ちついたふんい気」。
- 6月18・19日 日本病院会主催の全国薬事管理研究会が富山市民会堂で。同会常任理事の西能院長が開会あいさつ。
- 6月19日 互助会旅行、高山ハイチゴ狩り。一
- 7月10日 県医師会の医療従事者表彰で病院職員二人(坪内奈津子、用水とも子)。
- 8月7日 西能院長(日本病院会常任理事)、日本病院会主催の「病院長並びに病院幹部セミナー」(東京・ダイヤモンドホテル)で講演。演題は「私はこのようにして病院を管理運営している」。
- 8月14日 五階和室で物故者法要。
- 9月8・10日 第三十三回日本病院学会が浜松市民会館で。病院から十三人が参加、五演題を発表、西能院長(学会評議員)は四演題の座長。
- 9月1日 西能院長、本多県医師会長に、富山県下公私病院の合同会議の早期開催を陳情。
- 9月23日 八ヶ岳公園で、第六回病院運動会。
- 9月1・26日 朝礼でつぎの新職員六人の紹介。錦戸直美、永沢昭二、山本英子、大久保明子、梅原育代、林美由紀。
- 10月27日 病院五階ホールで四十八人が参加して富山県栄養士医療部会。患者給食(昼食)を試食、院内見学。
- 10月30日 病院五階会議室で、西能病院の思い出を語る第二回座談会。(新年号から連載)
- 11月1日 驚見(すみ)信清医師が名古屋保健衛生大学から着任(佐藤正也医師は同大学に帰任)。
- 11月23日 掘事務長、富山県臨床衛生検査技師会三十周年記念大会(名鉄富山ホテル)で知事感謝状。同会の設立及び運営に尽力した功勞。